# 新聞制作センター各種サービス案内

新聞制作センターでは、編集・制作作業の効率化を推進するため、従来の「紙面制作サービス」を含め各種の サービスをご用意いたしました。是非お問い合わせください。

## ①紙面制作サービス

お客様から、原稿テキストや写真などの素材を送信していただき、紙面の割付、組版を行い初稿ゲラをお客様に送信します。その後、数回の赤字直しを行い校了とし、印刷データを指定の印刷所に送信、または、お客様に印刷用PDFデータを送信します。

対応する媒体種類は、ブランケット判新聞、タブロイド判新聞、A4判その他の広報紙・雑誌などになります。

	ブランケット判新聞	1頁	7,000~15,000円
定価	タブロイド判新聞	1頁	5,000~12,000円
	A3 判広報紙	1頁	5,000~10,000円

※受注ページ数およびタイムテーブルなどの条件により変更があります。ご相談ください。

### ②「新聞AI割付」+「新聞自動組版」ご活用サービス

このサービスは、新聞制作センターが開発した「新聞AI割付」と「新聞自動組版」という2つのシステムを新聞社自らが使って紙面制作を実施するものです。

「新聞AI割付」は、初期費用と月額利用料金となり、月額利用料金は月間での処理ページ数によって金額が 決められています。例えば月間で8ページだけの紙面の割付をする場合の月額利用料は50,000円で、1ページ当 たりの料金は6,250円となります。32ページだと月額120,000円でページ単価は3,750円。さらに100ページでは月 額173,000円でページ単価は1,730円。200ページ以上ではページ単価は1,250円となります。

「新聞自動組版」は、初期購入費用と月額サポート料金になります。

紙面制作の一部を新聞制作センターに委託していただくことも可能です。紙面制作協力の項をご参照ください。

品名		料金(円)	備考
新聞 AI 割付	月額利用料(月間処理頁数:8頁)	50,000	(例:月刊8頁建て)
	月額利用料(月間処理頁数:16頁)	73,000	(例:月刊 16 頁建て)
	月額利用料(月間処理頁数:32頁)	120,000	(例:週刊8頁建て)
	月額利用料(月間処理頁数:64頁)	145,000	(例:週刊 16 頁建て)
	月額利用料(月間処理頁数:100頁)	173,000	(例:日刊4頁建て、月25回発行)
	月額利用料(月間処理頁数:200頁)	250,000	(例:日刊8頁建て、月25回発行)
	月額利用料(月間処理頁数:400 頁)	500,000	(例:日刊 16 頁建て、月 25 回発行)
	op. 環境設定費(1媒体)	50,000	
	op. 講習費(1日)	50,000	交通費・宿泊費は別途
新聞自動組版	ライセンス料(1ライセンス)	400,000	2ライセンス以上の購入を推奨
	月額サポート費(1ライセンス)	10,000	
	op. 基本テンプレート作成費 (1媒体)	50,000	
	op. 校正支援スクリプト作成費 (1点)	5,000	
	op. 在版テンプレート作成費(1点)	10,000	連載・企画用 indt データを提供
	op. 在版テンプレート用タイトルカット	10,000	eps 画像データを提供
	op. 講習費(1日)	50,000	交通費・宿泊費は別途
  紙面制作協力 	新聞 AI 割付作業(1ページ)	5,000	紙面素材(仮見出しは必須)を頂き、組版情報 zip データを提供
	新聞自動組版作業(1ページ)	7,500	組版情報 zip データを頂き、組版済み InDesign データまたは印刷用 PDF データを提供

### ③オリジナル株価表PDF配信サービス

株価表は一般紙や経済紙に掲載してある情報紙面…とお考えではありませんか?

新聞制作センターは、地域紙でも業界紙でも、読者に対して「生きた経済情報」としてお届けする株価面を提案します。

地域や特定業界で生活する読者にとって、現在の新聞に掲載されているような株価面は必要ありません。 地域新聞であれば、そのエリアにある上場企業の事業所や関連施設、さらに商品を取り扱っている販売店の従 業員にとっては必要な情報です。

業界新聞にとっても、その業界と関連のある上場企業の株価動向はチェックすべき情報です。

弊社が配信する株価情報は「余計な株価」を排除して、新聞社の読者サービスに必要な銘柄のみの株価を配信し

一定のスペースを設定いただければ、そのスペースにストンと組み入れられるPDFファイルで配信します。料金は銘柄の数や情報の質(始値・安値・高値・終値や取引数など)や日刊・週刊・月刊での掲載によって違います。例えば週刊紙での「週間株価表」で100社以上の銘柄をカバーしても1か月200,000円から300,000円程度。50銘柄程度を週間高低表で掲載する場合は1カ月14万円前後で配信させていただきます。

# ④時事通信紙面PDF配信サービス

日本を代表する通信社である時事通信社の記事を活用した紙面をPDFファイルで配信します。

配信する紙面は、文化・健康・季節の話題や内外のニュース解説など、自社での取材が難しい分野の紙面を配信します。

ョしょす。 - 料金は1ページ(ブランケット判やタブロイド判は関係なく)27,500円から30,000円の範囲でお届けします。

# ⑤InDesign新聞組版講習サービス

新聞制作に特化したInDesignの講習を行います。

「InDesignを利用して新聞を作成したいが、どう操作したらいいか分からない」

「InDesignは難しい」

「新聞AI割付十新聞自動組版」を利用したいが、InDesignでの修正・組み直しまでの技術も身につけたい」という新聞社の皆さまにInDesignを使った新聞制作の講習を行います。

という新聞社の皆さまにInDesignを使った新聞制作の講習を行います。

品名	料金(円)	備考		
InDesign マスターテンプレート作成費	250,000			
校正支援スクリプト作成費(1点)	5,000			
講習費(1日)	50,000	交通費・宿泊費は別途		
講習費(2日)	100,000	交通費・宿泊費は別途		
講習費(5日)	250,000	交通費・宿泊費は別途		

※講習時間や講習内容などご相談ください。

# 新聞AI割付+新聞自動組版

# ます「お試し版」を体験してから

新聞業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。新聞制作センターはDXを進めるツールとして「新聞AI割付」+「新聞自動組版」の本格運用を今秋にも開始します。作業時間は自動割付に3分、自動組版に1分と、整理マンによる割付時間、オペレーターによる組版作業時間に比べ短縮が図れます。

サービス開始に先駆け、新聞社の皆さまにお試しで使ってもらえるサイトを9月1日より立ち上げます。 どうぞご利用ください。

新聞AI割付 ユーザーから与えられる条件に沿ってクラウドサーバー上のAIエンジンが、より最適な割付を考え提示します。AIは数理最適化モデルのルールベース型を採用し、禁則事項を含む新聞ルールに従い数万単位の組み合わせの中から最適パターンを導き出します。ユーザーは、TXT記事や写真などの素材をクラウドサーバーにアップし、新聞AI割付の出稿表を使って組版条件を指示し実行ボタンを押すだけです。新聞AI割付には媒体ごとに環境設定機能を付加しましたので、ユーザーが独自に設定することができ、独自色を表現することができます。

新聞自動組版 新聞AI割付が作り出した組版情報を、InDesignを使って事前に用意したInDesignテンプレートに組み上げるソフトとなります。保存形式はInDesignファイルなので、簡単な赤字直しや写真差替えはInDesignで行えます。また、テキスト書き出し機能も付加しているので、プレーンテキスト、日本語タグテキスト、htmlタグテキストのいずれかで書き出しすることができます。

**お試し** ブランケット15段、ブランケット12段、タブロイド10段のサンプルをご利用することができます。 なお、お試し版では前記の環境設定機能が使用できませんので、サンプルに則した割付・組版となること をご了承ください。

お試し希望の新聞社様 弊社ホームページの専用サイト (http://seisaku-center.co.jp/system-

introduction/)よりお申し込みください。 お試し期間は、試用受付を行ってから30日間となります。

お試しに際しては、以下の条件が揃っていることが前提となりますので、ご確認ください。

#### 新聞AI割付の環境

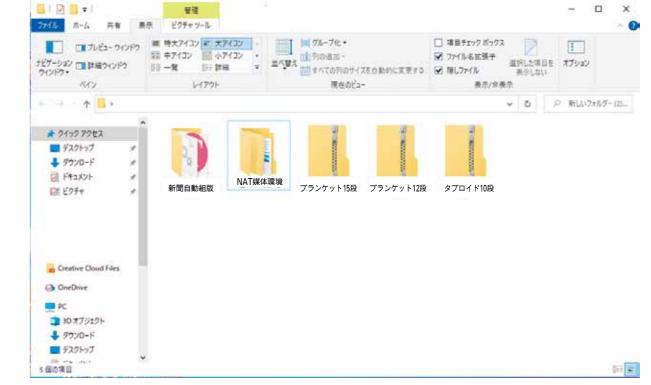
ネットに接続可能なPC、WindowsでもMacでも可、Webブラウザー(Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox)

#### 新聞自動組版の環境

ネットに接続可能なPC、Windows10を搭載

Adobe InDesign2023

モリサワフォント A-OTF 見出ゴMB31 Pro-MB31 A-OTF 見出ミンMA31 Pro-MA31 A-OTF 毎日新聞明朝 Pro-L A-OTF 毎日新聞ゴシック Pro-L



お試し版ダウンロード、画面のイメージ

# ルールベース型AIとは

AIは「Artificial Intelligence(アーティフィシャル・インテリジェンス)」を略した言葉で、「人工知能」を意味します。一般的には「機械学習」や「ディープラーニング」と呼ばれるAIがイメージされますが「これがAIです」といった特定の定義は確定されていません。現在のAIを大きく分けると「ルールベース」の手法と「機械学習」の手法の2つに分類されます。ルールベースは設定したルールに基づき処理を行い結果を出すシステムで、「機械学習」はルール自体を機械が解析して見つけ出す手法です。

# ◆◆ プロジェクト担当より ◆◆

やっと、みなさんに「新聞AI割付」+「新聞自動組版」を触っていただける日がやってきました。ですが、まだまだ未熟で「なんじゃこりゃ!!」というご批判を受けることを承知で

お試し版リリースに踏み切ります。 当初考えていた工数をはるかに超え

あれも必要、これも必要と追加し、そのためには、こんな制御が必要、あんな機能が必要 それを自動でやるためには、どんなパラメーターを作って、と前半部分での試行錯誤の連続の最中で 組込みや横組みなどの機能構築は済んでいるものの

AIエンジンとの連動がとれていない状況での公開となります。

ですが、「新聞AI割付」はクラウドサーバーを使っているので、リアルタイムでの修整更新ができます。 「昨日できなかったことが 今日できるようになりました」とみなさんに報告できることを目指しています。 また、今回採用しているルールベース型AIは、勝手に自分で学習して勝手に自分で修整しないため 教えるのに手間と時間がかかりますが、学んだことは忘れないいいヤツです。

お試し版を使用いただく際は 「これができない」「あれができない」ではなく

「これをこうしてほしい」「あれをこうしてほしい」との声をお聞かせください。 「今日できるようになりました」と日々応えていきたいと思っています。

共に"新人"を育てるつもりで、ご指導いただけることを願います。

あおやま

